

開催案内

マンスリーセミナー

399	8/23 (火)	青色LEDの開発と今後の展望	豊田合成株式会社 特任顧問 太田 光一 氏
(内容) 豊田合成は、赤崎教授、天野教授のご指導の下、1986年より青色LEDの研究開発に着手し、1995年から製品の量産化を開始した。そして、2014年に「高効率な白色照明を可能にした青色LEDの発明」に対し、両教授にノーベル賞が授与された。ここでは、ノーベル賞の授賞式の様子や対象発明の概要を簡単に紹介すると共に、青色LED開発の歴史、活用状況、今後の展望について解説する。			
400	9/20 (火)	無機系材料を用いた人工光合成技術の研究動向とCO ₂ 還元反応研究の進展	パナソニック株式会社 先端研究本部 環境材料研究部 物質変換材料研究課 羽柴 寛 氏
(内容) 近年、エネルギー需要の大幅な増大に伴い、化石燃料などのエネルギー資源の枯渇が大きな課題となっている。この課題は持続可能な社会を成立させるために克服必須であり、その解決策の1つとして、太陽エネルギーを用いて資源合成を行う人工光合成技術に大きな注目が集められている。本発表においては、特に無機系材料を用いた人工光合成技術に着目し、当社の取り組みも交えて近年の研究動向を紹介する。また、特にCO ₂ の再資源化の観点で重要な、電気化学CO ₂ 還元反応における研究の進展と今後の展望についても紹介する。			
401	10/18 (火)	データセンター・データコム光通信用超高速半導体レーザの技術動向 ~up to 100 Gbit/s & Beyond ; 現在・過去・未来~	日本オクラロ株式会社 デバイス開発センタ 魚見 和久 氏
(内容) 急激に発展している情報インフラを支えるデータセンター、データコムでの光通信の心臓部を担う1.3 μm帯～1.55 μm帯半導体レーザの現状と将来動向について紹介する。近年、伝送速度が急速に増大し100Gbit/sの市場導入が本格的に始まっているが、半導体レーザの直接変調方式とEA変調器方式での超高速変調技術を担ってきた設計・材料技術に関するブレーカスルーを過去から俯瞰的に解説する。及び、今後PAM4変調方式が基軸になるであろう400Gbit/s、1Tbit/sの伝送速度に向けたさらなる性能向上・省電力化へのチャレンジ&アプローチの研究動向・将来展望について概説する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7階
時 間：午後3時30分～5時30分
定 員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
申 込 先：光産業技術振興協会 開発部 間瀬
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp